

団体名・グループ名

箱島こどもホタルレンジャーの会

審査委員の評価のポイント

昨年度、環境大臣賞受賞。ホタルの発生数調査やカワニナを調べたり、ホタルの天敵ザリガニ退治や川遊びをしたりしながら、自然の素晴らしさを体感している。毎年6月下旬に開催しているホタル学習会で、こどもホタルレンジャーが中心になってホタルの説明を行ったり、見学者に自然保護のメッセージを書いたしおりを作って配るなど、3年目で子どもたちの成果は大きく、自分たちで調べたことを発見し、人との共生という意識が強くなった点が評価された。

活動の場所 箱島ほたる保護地周辺（鳴沢川・竹之沢川）	活動したこどもの人数 35人 活動したこどもの学年 小学校1～6年生
活動継続年数 3年	主な受賞歴 平成19年度 こどもホタルレンジャー環境大臣賞

活動グループ（学校・団体）の紹介、活動頻度

箱島ほたる保護の会が「ホタルを大切に子どもを育てよう」と地域の子どもたちに声をかけて本会が発足した。小学校1年～6年まで35名のメンバーが3班に分かれて活動時の旗や約束をつくって楽しく活動している。毎月1回、全員でホタルや地域の学習会を開催し、川や池などに入り自然にふれながら自然や箱島のよさについて学ぶ活動をしている。6～7月のホタルが舞う時期は、保護地で観賞ツアーに参加したり、清掃をしたりしている。

活動の概要（活動の経緯も含めてご記入下さい）

箱島ほたる保護の会とともに、保護地でホタルの発生数やカワニナを調べたり、ゴミをかたづけたりしている。6～7月の毎週末には、保護地（第1～3）の観賞ツアーを行っており、ホタルレンジャーの子どもたちは、外来者とともに参加し、ホタルの学習を深めている。また、毎月1回、学習会を開催し、ぐんま昆虫の森に行き学習したり、箱島地区の川で川遊びをしたり、ザリガニ退治をしたりしながら、自然の素晴らしさを体感している。毎年6月下旬に開催しているホタル学習会では今回、こどもホタルレンジャーが中心になってホタルの説明を行うほど実力をつけてきた。箱島地区の自然や文化等にふれ、五感を通して自然を語る活動を続けたい。

団体・グループ名

箱島 こどもホタルンジャーの会

活動の場所（様子や環境など）

東吾妻町箱島ホタル保護地周辺

タイトル

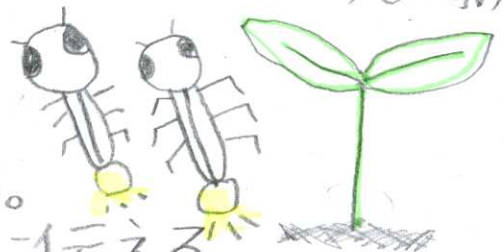
ホタルと人が暮らす自然を守ろう！

活動を始めたきっかけ（興味を持ったことなど）

私たちの住む箱島ではホタルがたくさん舞
6月下旬になると、毎年子どもを集めてホタル
観賞会があります。小さいころから参加していて
「ホタルのことをもっと知りたいなあ」と興味をもつよ
なりました。そんな時ホタル保護の会の方から
「ホタルや川のことを言周べたりホタルを大切にすることも
ホタルンジャーの活動を始めよう」という話があり、
小学生が集まってこの会を作りました。

3つの班に分かれて、班の方針をつくり、活動する時の
約束を決めました。

- ①ホタルを楽しく学ぶ
- ②川やこん虫をよく観察する。
- ③自然の大切さをみんなに伝える。



私たちはホタル保護の会の方にいろいろ教えられるながら、
毎月ホタルや川や自然を大切にする活動に取り組んでいます。

活動の内容や調べたこと、写真やイラスト



箱島こどもホタルンジャー



1年生	1名
2年生	7名
3年生	4名
4年生	14名
5年生	6名
6年生	3名

ザリガニつり

合計 35名



活動の内容や調べたこと、写真やイラスト

ぐんま昆虫の森に出かけよう。5月24日(土)



ホタルンジャーのみなでぐんま昆虫の森に行きました。入り口で写真をとってから見学をしました。昆虫がたくさんいるのかな?と思いました。が、私の知らない昆虫がいてとても楽しく勉強になりました。



ペーパークラフトで昆虫のブーメランを作りました。マーカーペンで昆虫の糸会に色をぬって、なげてみるととてもきれいでした。昆虫ライブステージでは『ダンゴ虫のめいろ』をやっていました。ダンゴ虫は右に曲がる習性があるのでうまめいろを通りぬけました。すごいと思いました。



活動の内容や調べたこと、写真やイラスト



昆虫の森の温室は、沖なわの気温と同じです。熱帯植物がたくさん植えてあり、チョウチョが住みやすい環境でした。指の間にチョウチョをはさんでみんなと、しょにはなしました。

外に出て、虫とりあみと、虫めかねを持って、昆虫を調べました。モンシロチョウとトンボをつかまえました。

かやぶき屋根の家は、昔、かこをかっていました。家の中にはいろいろあって、火がもえていました。外には水で、ほうや、竹馬、めんこ、ペイゴなど昔の遊びの道具がたくさんあり、みんなで楽しく遊びました。



活動の内容や調べたこと、写真やイラスト

しおりづくり

6月8日(日)

いよいよホタルシーズンの
はじまりです。6月になると、
ゲンジボタルが"光り出したくさ
んの人"が見に来ます。そこで、
私たちは、ホタルを見に来てくれ
た人に、自然を大切にしてくれ
うためにしおりを作りました。
公民館に集まって色紙やテープ
などをもちよって、いろいろな
しおりを作りました。

しおりには、ホタルの絵
を書いたり、ホタルンジャー
のメッセージを書いたり
しました。出来上がったしおり
は、第一保護地の募金箱
の前におきました。雀見
賞者のみなさんにとっても
喜んでもらったのでうれし
くなりました。



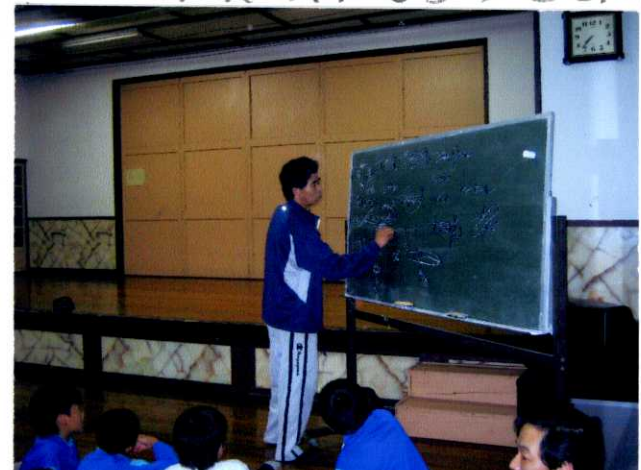
活動の内容や調べたこと、写真やイラスト

ほたる観賞会 6月24日(火)

今年のホタル観賞会は、私たちホタルンジャーのメンバーが中心になって、ホタルの説明をすることになりました。3、4人でグループを作りホタルについて調べたことを発表しました。箱島公民館にはおじいちゃんおばあちゃんから小さな子どもまで150人ぐらいの人が集まってくれました。
 ◎ 箱島には、ゲンジボタルとヘイケボタルがいること。 ◎ カワニナと



ホタルのえさのこと。 ◎ ゲンジのよう虫は、カワニナを25匹食べること。 ◎ ホタルの光はルシフェリンという物しつが光ることなど。とてもきんちょうしたけれど上手に発表できました。ホタル保護の会の方にも説明してもらいました。その後で保護地に行ったら、たくさんのホタルがピカピカ光って、私たちをほめてくれるようでした。



活動の内容や調べたこと、写真やイラスト



ぐんまの自然研究発表会 7月3日(日)

ぐんま昆虫の森で 第2
回「ぐんまの自然」県内受賞校
研究発表会がありました。
「ホタルと人が暮らす自然を中
う」のテーマで、私たちが取組
んでいる活動を発表しました。
会場で練習しているとテレビ
カメラをもった人たちが来て、
「ニュースに下るよ」といったので
びっくりしました。本番になると、
人がいっぱい入ってきて、
とてもさんちょうしました。
ホタルは人里に発生するので
人とホタルがいっしょに住めるよ
うに自然を大さぐらにしよう
ということを、私たちの活動の写
真を見せながら発表しました。
みんな一生けん命練習した
成果をたせてよかったです。
記念に矢島園長と発表者全
員で写真をとりました。

練習のようす

活動の内容や調べたこと、写真やイラスト

ザリガニ退治大作戦

8月9日(土)

ホタル第一保護地の池にザリガニが発生しているので、みんなでザリガニ釣りをして退治することになりました。

ザリガニはカワナヤホタルの幼虫を食べてしまうので、放っておいたらホタルがいなくなってしまうそうです。私たちは竹さおに糸をつけて、スルメのえさでつりました。ぜんぜん釣れませんでした。水の中にザリガニが見えるけれどえさには食いつきません。でもザリガニめかけでえさを近づけたら、釣りを楽にしました。



活動の内容や調べたこと、写真やイラスト

30分、金釣りをしてつれなかつたので、あみでつかまえることになりました。ザリガニは水ぎわの草の下にかくれているので、あみですくうとたくさんとることができました。手でもつかまえられるました。池の中に入ってどろんこになりながらザリガニをつかまえて退治しました。合計で128匹もザリガニをつかまえたのにはおどろきました。ザリガニをかいた人が家にもっていきました。近くの川や池にはなさないように約束しました。ザリガニを退治して西洋ゼリをゆくと、小さいカワニナがたくさんついていました。きれいな池になってよかったです。

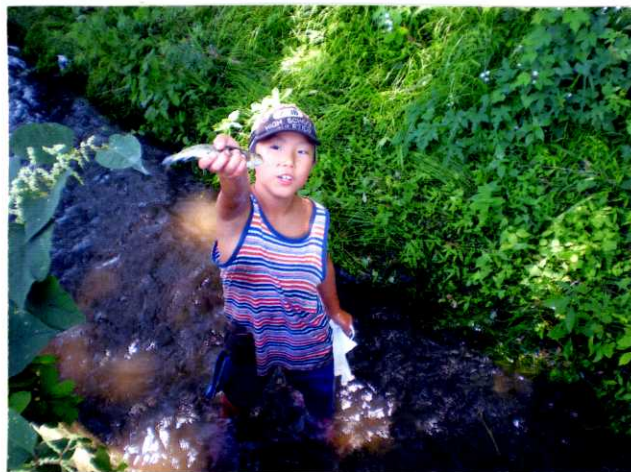


活動の内容や調べたこと、写真やイラスト

川遊びびとマスのつかみどり 8月9日(土)

ザリガニつりをしてから第二保護地に行き、川遊びびとマスのつかみどりをしました。ホタル保護の会の方がマスを50匹、川に放すとき私たちは、川に手を入れました。

マスは重く速くてどこにいるのかさっぱりわかりませんでした。石のすきまに手を入れると、ニョルッとしたのであわてつかむとマスをつかまえたのでとてもうれしかったです。



◆活動レポート用紙は、活動をした子どもたちが中心に記入してください。

活動の内容や調べたこと、写真やイラスト

下流にあみをはってあと、たくさんマスをつかまえました。
つかまえたマスは、はらわたをとって塩焼きにしました。
ホタル保護の会の方が準備してくれたので本格的な
塩焼きができてとてもおいしかったです。

マスを追いかけてながら自然の事をよく学べた
気がします。今まで「ゴミ」が捨てられていても見て見ぬふり
をしていた自分。今までなんでグリーン活動をしている
のか考えたこともない自分。知らない場所で、
何かかひかりを受けているということを考えなかつた
です。私たちは自然に住む生き物のために、グリー
ン活動をしてホタルをふやし、これまで以上に自然
と人のために、今できることをしていきたいと思い
ました。



活動の内容や調べたこと、写真やイラスト

十日夜(とうかんや) 11月10日(月)

とうかんやはモグラや野ネズミが畑の野菜を
食べたり地面をほりおこしたりしないように、
わらで作った棒で地面をたたきます。ネズミは、



カワニナを食べるので
ホタルの天てきでもあります。そこで私たちもとうかんや
に参加して野ネズミがでな
いようにたたきました。

「とうかんや、とうかんや、とう

かんやはいいもんだ。
タめしく、ちゃぶたただけ!
と大きな声を出しながら
ワラの棒で地面を
たたきました。箱島地
区の家をまわって庭を



たたくと家の人がお菓子を
リュックサックいっぱいにく
れたのでうれしかったです。
真暗な夜の道にもしかしてホタル
が飛んでいたらきれいだろう
なと思いました。また夏にホタル
が飛んでくれるのが
楽しみです。



活動で工夫したこと、困ったこと

- ホタルをつかまえたり、ゴミを捨てたりしないように、たくさんの方が自然を大切にするように、しおりにメッセージを書いて配った。
- ホタル観賞会や発表会では、ホタルについて調べたことや教わったことを、班で分担して、たくさんの小学生や大人の人に発表することができた。
- ザリガニはホタルの天敵だから、ホタルのムカ虫やカワニナを食べてしまう。第一保護地にある池にはたくさんザリガニがいるので、みんなで捕まえてザリガニを退治した。
- 班で行動するとき、協力して低学年の子のめんどうがみることかできた。集合時間やルールを守って楽しい活動に心がけた。

これからやりたいこと

- 来年もザリガニがいるか、みんなで調査をする。もし、ザリガニがいたらみんなで退治して、ホタルが安心して住めるようにする。
- ホタルは人工の光がきらいだけれど、赤い光は見えないと教えてもらったので、観賞者のかいちゅう電灯に赤いテープをは、てもらう活動をした。
- 川遊びをたくさんして、ホタルとずっと仲よくなりたい！



チョウチョを放した

気づいたこと、感じたことやおもしろかったこと
環境大臣やみんなに伝えたいこと

- 今年のホタルンジャーの活動では、ぐんま昆虫の森と箱島公民館で3回、たくさんの人の前で発表しました。保護の会の方に教わりながら、事前にみんなでご話し合ったり練習をしたりしたので、どの発表会もうまくできたと思います。みんなが協力することはとても大切なことだと思います。
- 第一保護地にザリガニがたくさんいたので驚きました。ザリガニを放っておくと、ホタルの幼虫やカワニナが食べられて、ホタルがいなくなってしまう。みんながザリガニをつりをしてみんなで退治できたので、ホタルが住みやすい環境ができました。
- 完全変態と不完全変態について調べました。ホタルはやわらかい土の中で幼虫からサナギになります。土まゆの中でサナギになり、およそ50日後成虫のホタルになって飛び始めます。ホタルは、サナギから成虫になるので完全変態です。
- 川遊びをしたりマスのつかみ取りをしたことは、水がとても気持ちよくとてもおもしろかったです。きれいな水と空気をよごさないように、自然を大切に、これからも自然を大切にしていきたいです。

環境大臣へのメッセージ

森や林や草原などの
緑を守り
ホタルが
住める環境
をつくら
ください。



ホタルと人が
暮らせる
自然を
守ろう!